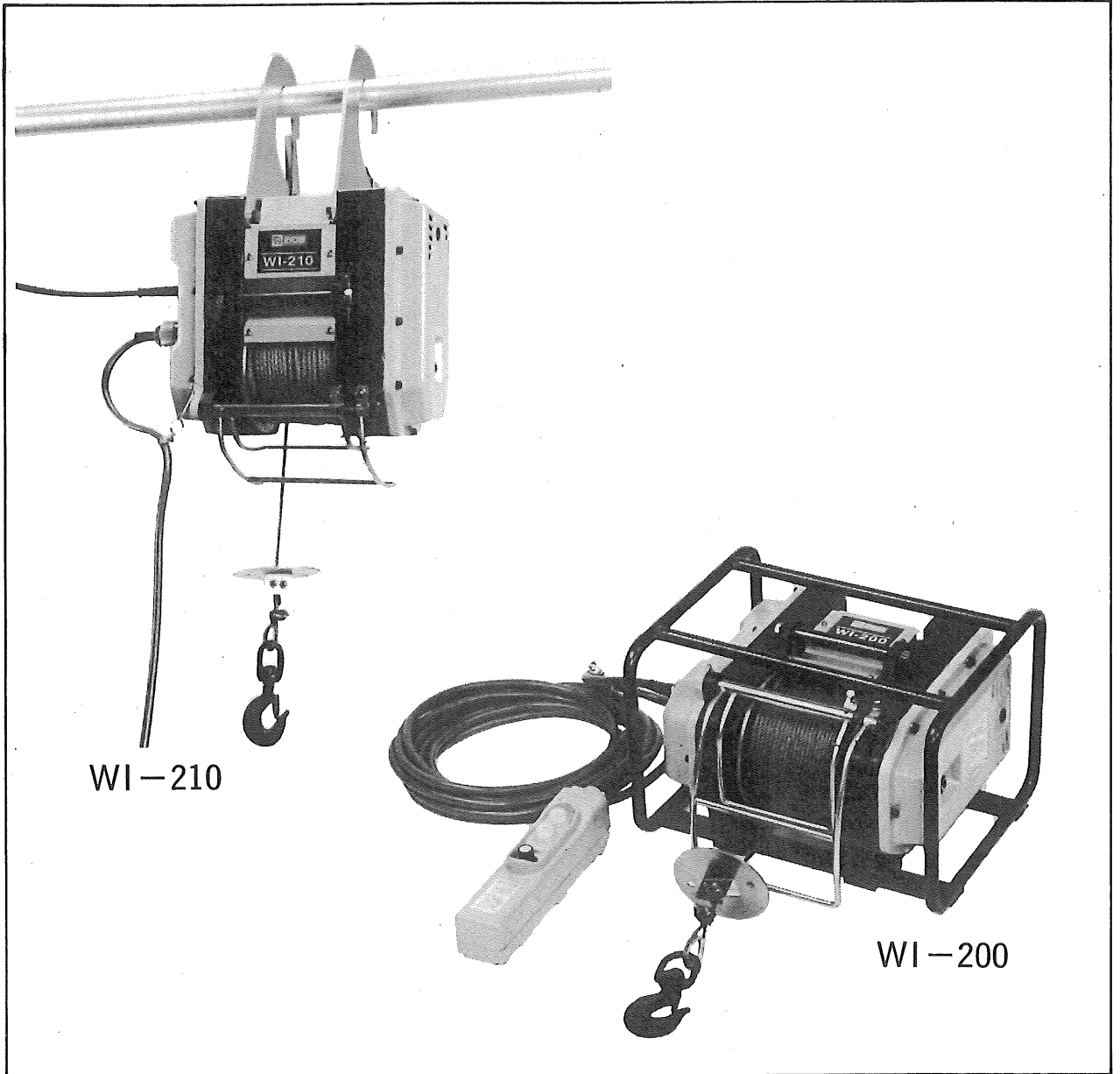


ウインチ

WI-200・WI-210

取扱説明書



WI-210

WI-200

●特長

- 吊揚げ対象、作業場所に合った巻上げ、戻し速度の選べる電子制御無段変速を採用しています。
- 重量物の下降時にも加速しないネジブレーキ機構を採用した安全設計です。
- 吊揚げ能力は、このクラスで最大の200kgです。
- 軽量、コンパクトな設計に加え、操

●仕様

モデル	WI-200(定置式)	WI-210(吊下式)
電 源	単相 交流 100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格電流	15A	
消費電力	1,450W	
吊揚荷重	200kg	
吊揚速度	(無負荷)10~25m/分 (200kg吊揚時)10~15m/分	
標準ワイヤーロープ	5mm×40m	5mm×30m

作スイッチは脱着可能なメタルコンセント付ですので、運搬、据付が簡単に行なえます。

- ワイヤーの巻き過ぎ、逆巻きを防止する過巻防止機構、逆巻防止機構を採用しております。
- 持ち運び、据付が簡単に行なえ、本体を保護するパイプフレーム構造。(W I -200)
- 吊下げタイプとして、簡単に据付のできる吊下げ金具付。(W I -210)

●用途

- 機械の設置、商品の積み降し、互等の荷揚げ等各種吊揚げ作業。

●ご使用に当たりますの注意事項

ウインチを使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 雨中での使用はモーター関係の電装保安の為、避けて下さい。
※屋外で使用される場合雨が掛からない様にシートを掛ける等して下さい。
- 滑車、ワイヤーロープには時々グリスアップして下さい。
- ウインチは確実な場所へ、確実に設置して下さい。
- ご使用前にワイヤーロープがゆるんでいる場合は、きれいに、強く捲直して下さい。乱捲になりますとワイヤーロープが食い込み、ワイヤーロープ寿命を短くするばかりでなく吊揚能力も著しく低下します。
- ワイヤードラムに捲き付けてありますワイヤーロープは全てを出さず、必ずワイヤードラムにワイヤーロープを3m以上残して下さい。
- 延長コードを使用しますと、電圧降下を起し、ウインチの能力を低下させ、モーター寿命を縮めます。万一延長コードを使用される場合は、線断面積2mm²以上、コード長さ30m以内のものをご使用下さい。
- 作業中は安全の為、絶対に積荷の下を通らないようにして下さい。大変危険です。
- 十分にまわりの安全を確認した上でスイッチ操作を行って下さい。
- 運転中、ワイヤードラム、ワイヤーロープには絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- ワイヤードラムにスイッチコードが捲き込まれないようにご注意願います。
- 昇降の荷が建造物、又は枠組等に触れないようにウインチ本体をセットして下さい。
- 最大吊上荷重は200kgですので、これ以上の荷重は保安上絶対避けて下さい。
- 荷の昇降は垂直に行ない、荷を吊上げる前には、ワイヤーロープが真すぐに張った状態になっているかを確認して下さい。ワイヤーロープにタルミがありますと衝撃により、ワイヤーがドラムに食い込み、ワイヤーロープの寿命を著しく、低下させる原因となります。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。

操作コード長	5 m	10m
電源コード長	6 m	
本体重量	23kg	20kg
本体寸法	270×420×350mm	240×350×630mm

●通常附属品

(W I -200)

操作スイッチ(コード5 m付)

ワイヤーロープ5 mm×40m (本体付)

スナッチブロック(滑車) 2個
(W I -210)

操作スイッチ(コード10m付)

ワイヤーロープ5 mm×30m (本体付)

吊下げ金具一式

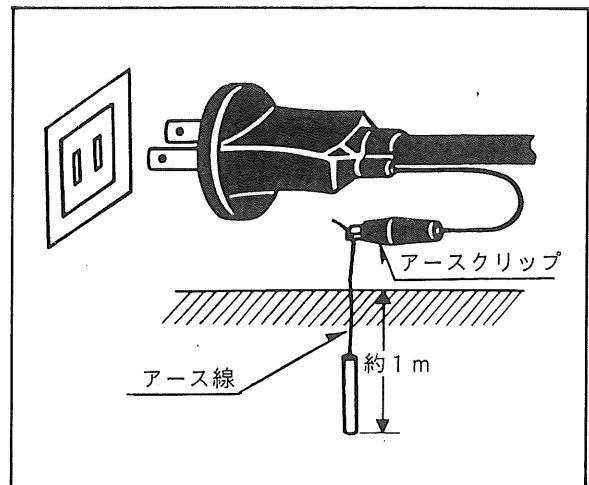
●特別附属品(別販売)

- 中継コード10m (オス・メスメタルコンセント付)
- ワイヤーロープ (5 mm×50m)

- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は、異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 整備点検、部品交換の際は必ずさし込みプラグを電源より外して下さい。
- 作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求め販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ東和各営業所にお問い合わせ下さい。

●アース

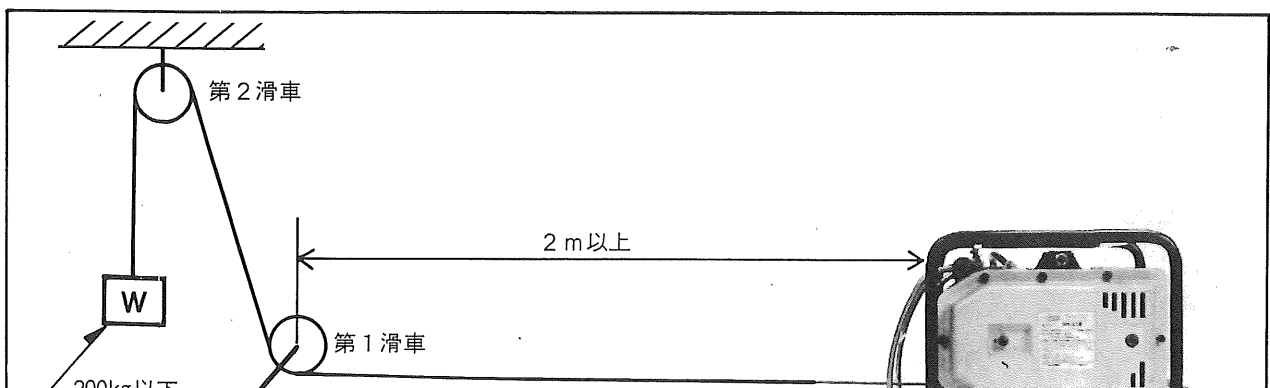
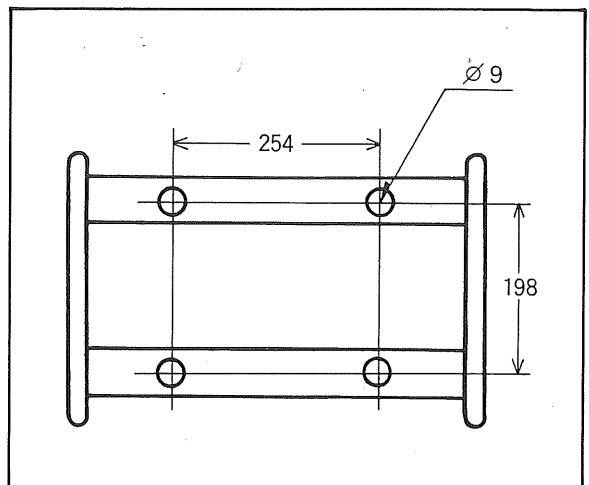
- 感電事故を防止する為には、ご使用に先だち、コード端にあるアースクリップを接地して下さい。



●据付方法

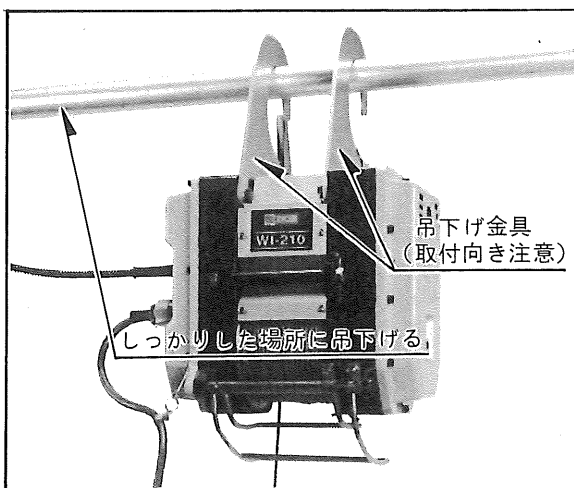
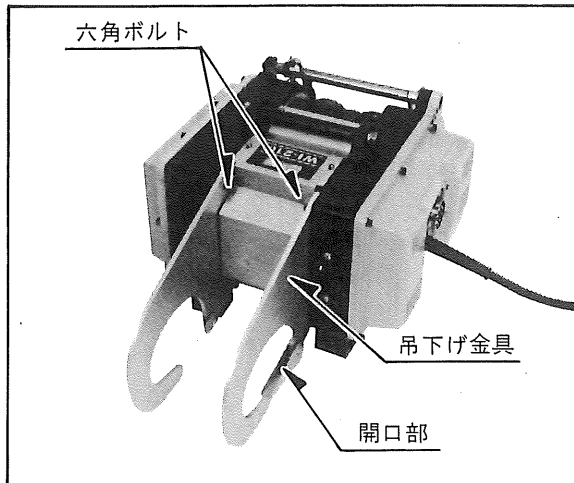
(W I - 200)

- ①本体をボルト、ワイヤー等で確実に固定して下さい。
※ボルト止めは、右図の寸法でパイプフレームを固定して下さい。
- ②第1滑車は地面とワイヤーロープが平行になるように設置し、第1滑車とウインチは2m以上離して下さい。
- ③ワイヤーロープはリミットアームと検知アームの間を通し、ドラムの下側から引出して下さい。



(WI-210)

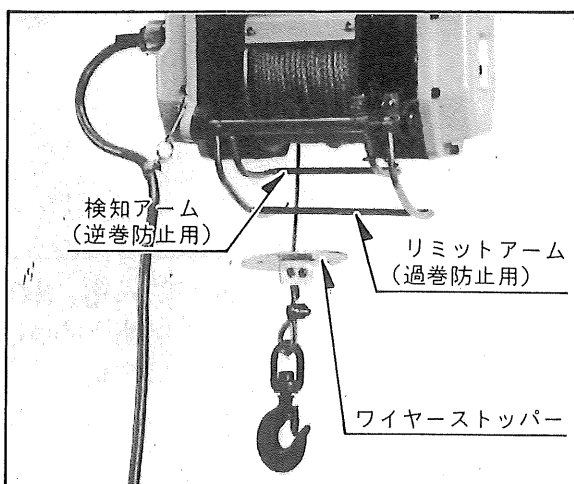
- ① 本体上部の吊下げ金具取付用ボルト穴に付属の六角ボルトで、吊下げ金具を確実に取付けて下さい。
- ② 吊下げ金具の取付けには、取付け向きがありますのでご注意下さい。本体とフックに位置合せ数字がありますので、合せて取付けて下さい。逆向きに取り付けますと、作業時の本体バランスが悪くなり危険です。
- ③ 吊下げは、丈部な場所に吊下げ金具で吊下げて下さい。



● 過巻防止機構と

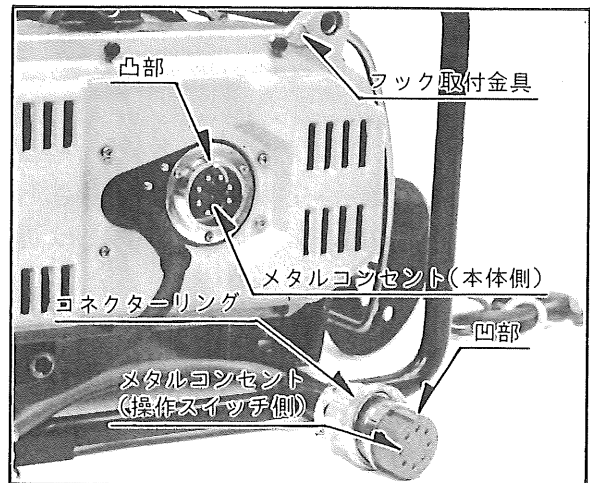
逆巻防止機構

- 本機は安全と機械保護のため、ワイヤーロープの巻き過ぎを防止する過巻防止機構と逆向での巻き取りを防止する逆巻防止機構を備えております。
- 過巻防止機構はワイヤーストッパーがリミットアームに触れ、リミットスイッチが入ることにより電気ブレーキがかかり、巻揚げを停止する構造になっております。
- 無負荷もしくは軽負荷の場合の巻揚げでは、操作ボタンを離しても惰力により50cm程度巻揚げます。本体まで巻上げる場合は、過巻防止機構を作動させ電気ブレーキにより停止させて下さい。過巻防止機構は操作スイッチを離し、電源を切った状態では電気ブレーキが働きません。本体近くで操作スイッチを切った場合、惰力による巻揚げに対し過巻防止機構が作動せず巻き過ぎる事があります。



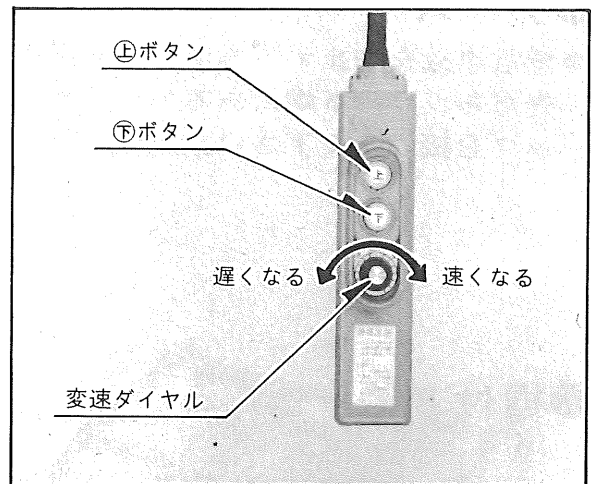
●操作スイッチの接続

- 本体横のメタルコンセント凸部と、操作スイッチのメタルコンセント凹部を合せて押し込み、コネクターリングを右に回してしっかり固定して下さい。
- 操作スイッチのコードフックは万一の事故に備えて、必ずフック取付金具に掛けて下さい。
(ご注意)スイッチコードがワイヤードラムに巻込まれないように注意して下さい。



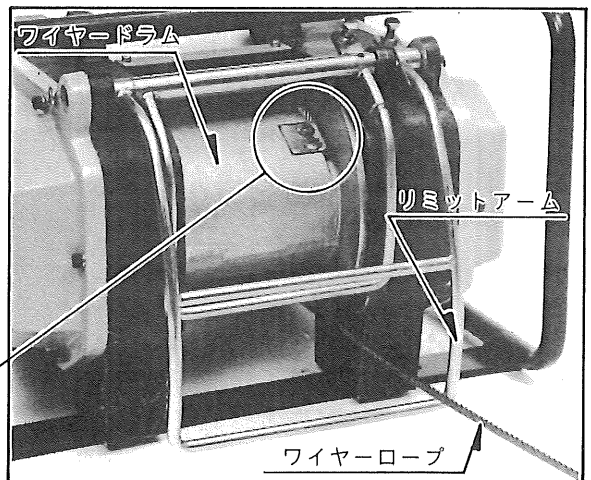
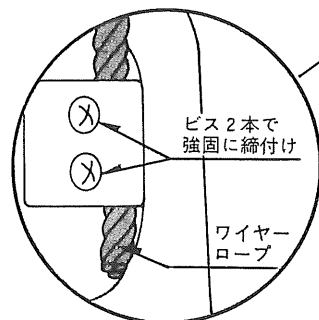
●スイッチの操作方法

- 巻上げの時はスイッチの㊸のボタンを、巻戻しの時はスイッチの㊹のボタンを押し続けて下さい。スイッチボタンを離すと停止します。
- 巻上げ、巻戻しスピードの調整は、スイッチ下部の変速ダイヤルを操作して下さい。ダイヤルを右に回すとワイヤードラムの回転は速く、左に回すと遅くなります。
- 巻揚げスピードは、無負荷で10～25m/分、200kg吊揚げで10～15m/分、の範囲で調整できます。



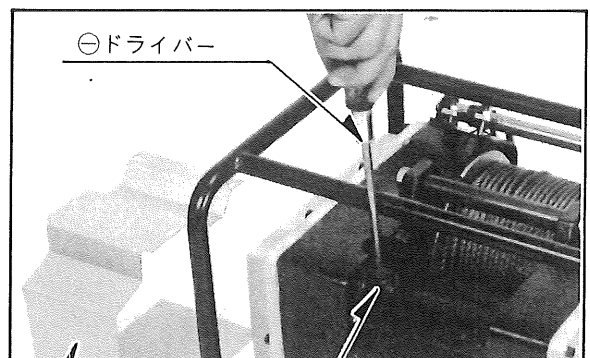
●ワイヤーロープの取替え

- ワイヤーロープの取替えは指定のもの(φ5 JIS A 3号普通Zより)を写真の要領でお取り替え下さい。
- ワイヤーロープの巻取りは、スイッチの㊸ボタンを押し、できるだけ固く乱巻にならないようにして下さい。

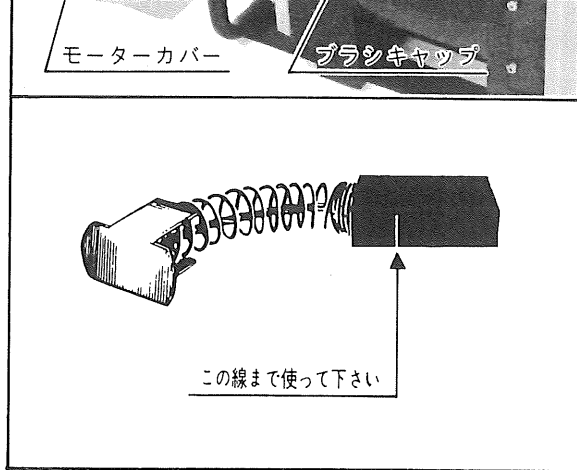


●保守と点検

- ワイヤーロープ、滑車は時々グリスアップし、ワイヤーロープがゆるんでいる場合は、きれいに、強く巻き



- カーボンブラシは全長の1/3(横に線の入っている部分)までご使用出来ます。時々カーボンブラシを外して点検して下さい。永らく取替えをしないでいますとカーボンブラシが摩耗してモーター部分が傷つき、焼損することがあります。
- カーボンブラシの交換は、モーターカバーを止めている6本のビスを外し、⊖ドライバーでブラシキャップを外しますと簡単に取出せます。



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い
 上ご不明の点があった場合にはご遠慮な
 く全国各地のリョービ電動工具販売店、
 リョービ東和各営業所にお問い合わせ下
 さい。

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

発売元



リョービ東和 株式会社

〒464 名古屋市千種区春岡通り7-49
 電話(052)761-5111

製造元



リョービ 株式会社

68559940101